

『身延山大学仏教学部紀要』総目次（自創刊号 至十九号）

○創刊号（平成十二年十月十三日発行）

創刊の辞

学長 浅井圓道

1

創刊にあたって

仏教学部長 岩田諦靜

3

目次

宗教と福祉実践——在家信者中田騷郎の事績から

志田 利

1

上田市立第六中学校の学校改革……生徒の荒れから学校自由参観・四者会議へ

田沼 朗

17

日蓮真蹟書状における料紙について

寺尾英智

33

Concerning the Uji chapters

Jill Emma Strohman

115L

仏像彫刻の周辺……天然砥石とその性質

柳本伊左雄

103L

羅什訳『法華経』の語学的研究——指示詞について——

椿 正美

89L

Dyānakarasiyāna の Prañāpāramitāpīṇḍarāthapradīpa について

望月海慧

35L

世親造『攝大乘論釈』所知依章の漢藏対照(一)

岩田諦靜

1L

○第二号（平成十三年十月十三日発行）

目次

研究ノート 仏教実践としての福祉——長谷川明徳の事績から——

志田 利

1

世親造『攝大乘論釋』所知依章の漢藏対照(三)

岩田諦靜

17

中国における石刻経の種類

桐谷征一

39

史料紹介 江戸時代の日蓮真蹟鑑定記録——日等『蓮祖御筆真偽拜見記』(上)——

寺尾英智

57

明治四年・丸亀原土肥大作襲撃事件関係資料(一)

中山光勝

81

編集後記

Aiisa に^レ帰^ルる Sarasāharīkārajīhāpāramitā に^レつ^ク

羅什訳『法華経』の語学的研究―接続詞「而」について―

志田 利
望月海慧
椿 正美
1L 13L

○第三号（平成十四年十月十三日発行）

目 次

研究ノート 地域をささえた寺と農繁期託児所―仏教師永田泰嶺の実践にみる―

志田 利
1

明治四年・岡山県下津高郡農民騷擾裁判小考

中山光勝
13

編集後記

羅什訳『法華経』の語学的研究―「復」「亦」「又」について―

椿 正美
67L

Blo bzang dpal ldan bstan 'dzin snyan grags に^レよ^シる Bodhipathavṛddhiya の注釈書につ^いて

望月海慧
49L

Dypankarasījñāna no Madhyamakopadeśa に^レつ^いて

望月海慧
9L

身延山大学における博物館学芸員資格取得課程の現状と課題

望月真澄
1L

○第四号（平成十五年十月十三日発行）

目 次

世親造『攝大乘論釋』所知依章の漢藏対照（四）

岩田諦静
1

研究ノート 地域福祉と寺院への期待―生活共同体の中心に―

志田 利
21

一九八〇年代教育権論争の考察：今橋教育法の意義と課題

田沼 朗
33

仏教学部紀要編集後記

田沼 朗
三輪是法

第5回国際法華経学会報告

三輪是法
127L

身延山大学における訪問介護員養成研修のとりくみ―その内容と実際―

志田 利／松木本隆／一之瀬美千子
99L

Blo bzang chos kyi rgyal mshan による *Bodhipathpradipa* の注釈書について
 羅什訳『法華経』の語学的研究—複合語について—
 The Ten Foot Square Hut

望月海慧 35L
 椿 正美 23L
 Jill Emma Strohman 1L

○第五号 (平成十六年十月十三日発行)

目次

日蓮研究に関する方法的試論と戦後日蓮研究史—「顕密体制論」まで—
 戦後教員文化の一断面—東京・足立一中の教師たち
 編集後記
 仏教福祉のあり方を考える—新学科への期待
 身延山大学博物館実習報告書 日蓮宗の宝物目録Ⅰ
 Thub bstan chos kyi nyi ma による *Bodhipathpradipa* の注釈書について
 六朝訳経の受動表現

間宮啓壬 1
 田沼 朗 29
 田沼 朗
 志田 利 59L
 望月真澄 43L
 望月海慧 9L
 椿 正美 1L

○第六号 (平成十七年十月十三日発行)

目次

対話能力を育成する保育者像を探る—高瀬慶子の実践記録から—
 娘・母関係の物語 (一)
 民間福祉の理念と仏教—社会福祉法人春風会の実践—
 編集後記
 教育空間論の新展開……山梨・昭和町の学校改革
 老人介護における家族の素描

伊東久実 1
 山田英美 17
 志田 利 25
 田沼 朗
 田沼 朗 91L
 志田洋子 83L

三種の『三昧資糧論』について

望月海慧

49L

羅什訳『法華経』の語学的研究—否定副詞について—

椿 正美

39L

Freedom within Confines : The World of Kazuko To

Jill Strothman

1L

○第七号（平成十八年十月十三日発行）

目次

民間福祉の理念・その重要性について—山川忠洋氏の実践に学ぶ—

志田 利

1

娘・母関係の物語（二）

山田英美

11

彙報

編集後記

田沼 朗

社会福祉を専攻する学生の老人のイメージ

—セマンテック・デイファレンシャル法（SD法）を用いた老人のイメージの測定—

高橋一公

133L

子育て支援策としてのブックスタート運動と保育者の連携

伊東久実

115L

生殖補助医療で生まれた子どもを持つ家族のサポート資源活用現状と課題

—児童福祉および母子保健相談機関の職員へのインタビュー調査から—

森 和子

97L

「環境因子」としての保育士の役割—障害のある子どもへの発達支援について—

古屋義博

85L

羅什訳『法華経』の語学的研究—「何」について—

椿 正美

73L

What are the major sūtras in later Indian Buddhism?

Kaie MOCHIZUKI

29L

The Early Poems of Kazuko To

Jill Emma Strothman

1L

○第八号 (平成十九年十月十三日発行)

目次

「こころみ」の軌跡―日蓮の歩み(佐渡流罪以前)―

間宮啓壬

1

娘・母関係の物語(二)

山田英美

31

彙報

編集後記

田沼朗

45

大学生の一般的老人イメージと将来の自己老人イメージ―老人観スケールを用いた分析―

高橋一公

89L

介護支援専門員の現場教育における課題―アンケート調査から見えてきたこと―

植木博之

73L

羅什訳『法華経』の語学的研究―「当然・義務」を示す助動詞について―

椿 正美

65L

Dol po pa の二諦説理解について(II)

望月海慧

23L

十二世紀末までの日本各宗に於ける朝鮮仏教の影響について

福士慈稔

1L

○第九号 (平成二〇年十月十三日発行)

目次

「こころみ」の軌跡―日蓮の歩み(佐渡流罪以降)―

間宮啓壬

1

中世初期の明法道について

長又高夫

33

彙報

編集後記

田沼朗

59

Dol po pa の『宝性論釈善説陽光論』について(II)

望月海慧

65L

羅什訳『法華経』の語学的研究―「於」について―

椿 正美

53L

「主任介護支援専門員の継続研修の意義」―スーパービジョンを構築していくために―

植木博之

37L

社会福祉を専攻する学生の一般的老人イメージと自己老人イメージ

—セマンティック・ディファレンシャル法を用いた老人イメージの分析—

仏像修理における一つの試み—現状維持修理について—

高橋一公 15L
長澤市郎 1L

○第十号（平成二十一年十月十三日発行）

目次

娘・母関係の物語（四）

山田英美

彙報

13 1

編集後記

富士慈稔

十四世紀までの日本律蔵関係章疏にみられる新羅・高麗仏教認識

富士慈稔 93L

羅什訳『法華経』の語学的研究—使役義・受身義の表現について—

椿 正美 77L

保育者の成長過程…高瀬慶子のライフヒストリー研究(1)

伊東久実 63L

認知症サポーター養成講座の効果と課題—静岡県御殿場市での取り組み—

榎木博之 51L

Dol po pa の『宝性論釈善説陽光論』について（Ⅲ）

望月海慧 1L

○第十一号（平成二十二年十月十三日発行）

目次

娘・母関係の物語（五）

山田英美

彙報

13 1

編集後記

富士慈稔

保育者の成長過程…高瀬慶子のライフヒストリー研究(2)

伊東久実 77L

「主任介護支援専門員がスーパーバイザーになるための研修方法」

～主任介護支援専門員がスーパーバイザーになるために～

《資料整理報告》鎌倉末までの日本華嚴宗の朝鮮仏教認識

《身延山大学博物館実習報告書》日蓮宗の宝物目録Ⅱ

羅什訳『法華経』の語学的研究―介詞「以」について―

Taranatha の *dbu ma theg mchog* 第3章「仏の心髄である法界の決択」について

○第十二号（平成二十三年十月十三日発行）

目次

編年体御書目録『祖書目次』の遺文配列について

娘・母関係の物語（六）

彙報

編集後記

全員入学時代の大学教育のあり方

居宅介護支援事業所の主任介護支援専門員の地域での役割

～地域の取り組みから見えてきたこと～

保育士養成教科目「障害児保育」の歴史的考察

羅什訳『法華経』の語学的研究―禁止否定の表現について―

Dīpaṃkarasūtrāna に帰される三種の *śūti* 文献について(2)

榎木博之

福士慈稔

望月真澄

椿 正美

望月海慧

木村中一

山田英美

福士慈稔

岡林春雄

榎木博之

古屋義博

椿 正美

望月海慧

63L

49L

31L

21L

1L

1

13

21

59L

45L

31L

21L

1L

○第十三号(平成二十四年十月十三日発行)

目次

娘・母関係の物語(七)

山田英美

彙報

居宅介護支援事業所内で行われる事例検討の効果と課題

榎木博之

～A県B市での取組から見えてきたこと～

絵本から発展させる遊び

伊東久実

羅什訳『法華経』の語学的研究―接続詞「即」「則」「乃」「便」について―

椿 正美

レポート 東日本救援活動～悲母観音謹刻とダルマづくり～

吉田永正

Taranatha の *dbu ma theg mchog* 研究補遺

望月海慧

○第十四号(平成二十五年十月十三日発行)

目次

寛喜飢饉時の北条泰時の撫民政策

長又高夫

彙報

社会福祉士実習における実習施設と養成校における実習プログラミンの協働

榎木博之

社会権としての教育権の意義と課題

田沼 朗

羅什訳『法華経』の語学的研究―副詞「尽」「悉」「咸」について―

椿 正美

ウイグル語訳『妙法蓮華経玄賛』の研究状況と課題

金 炳坤

チベット語訳『妙法蓮華註』の序文の構成について

望月海慧

1L 23L 43L 51L 65L 19 1

1L 37L 49L 57L 67L 11 1

○第十五号（平成二十六年十月十三日発行）

目次

福祉現場に求められる養成校の教育

（福祉学科卒業生へのインタビュー調査から見えてきたこと）

特別養護老人ホームにおける誤嚥予防対策の現状と課題

羅什訳『法華経』の語学的研究―仮定表現を構成する接続詞について―

義寂釈義一撰『法華経論述記』の文献学的研究(1)

チベット語訳『妙法蓮華註』「授記品」和訳

榎木博之

北村愛子／佐々木さち子

椿 正美

金 炳坤／桑名法晃

望月海慧

1

67L

53L

45L

19L

1L

○第十六号（平成二十七年十月十三日発行）

目次

介護支援専門員におけるスーパービジョン研修の効果と課題

―A県B市3圏域スーパーバイザー研修から見えてきたこと―

障がいのある子どもをもつ親への支援―母親の語りから―

学校協議会のゆくえ

羅什訳『法華経』の語学的研究―人称代名詞について―

義寂釈義一撰『法華経論述記』の文献学的研究(4)

張保阜の赤山法華院と円仁の赤山禅院

榎木博之

北村愛子／中込美三子

田沼 朗

椿 正美

金 炳坤／桑名法晃

金 炳坤

1

79L

63L

49L

39L

23L

1L

○第十七号（平成二十八年十月一日発行）

目次

義務教育無償化をめざす自治体の取組み―京都府・伊根町の場合―

田沼 朗

彙報

身延山大学における福祉専門職教育の効果―就職先での聞き取り調査から見えてきたこと―

榎木博之

図書館における日本語支援活動の現状と可能性

伊東久実

羅什訳『法華経』の語学的研究―伝達動詞「言」「告」「曰」について―

椿 正美

『三平等義』の成立に関する研究

金 炳坤

○第十八号（平成二十九年十月十三日発行）

目次

三論学綱要書の流通を通してみた百済仏教学の日本仏教への影響

崔 鉉植／金 炳坤 訳

彙報

地域包括ケアシステムにおける認知症カフェの役割

（2017年身延山大学・金剛大学校学術交流研究発表会）

榎木博之

介護老人福祉施設における介護職員のストレスとその対応―日常の介護業務を通して―

佐々木さち子／北村愛子

地域共生社会の構築における小地域福祉活動計画の位相

高木寛之

チベット語訳『妙法蓮華註』「序品」和訳(1)

望月海慧

○第十九号（平成三十年十月十三日発行）

身延山大学仏教学部紀要第十九号 目次

日蓮聖人の檀越における本尊義の実践―大曼荼羅の讃文と檀越の供養を中心として―

桑名法晃

続『棲神』総目録（自第四十六号至第六十七号）

金 炳坤

15

身延山大学仏教学部紀要第十九号 彙 報

43

身延山大学仏教学部紀要 投稿要項

62

外国語教育における第1言語の効果的使用—OISE University of Toronto TEFL資格コースによる

「児童への英語教授法」に基づいて—

槇殿伴子

121L

チベット語訳『妙法蓮華註』「序品」和訳(2)

望月海慧

63L

『菩薩戒本持犯要記』の基礎的研究

金 炳坤

15L

医療ソーシャルワーカーの離職を思いとどまる要因に関する研究

榑木博之／保正友子／

1L

杉山明伸／大口達也

1L

※号数及び発行年月日の表記は奥付の通りとし、論題や著者名などの表記は本文より採用したが、ダブルクォーテーション・括弧付
きローマ数字の表記はその限りではない。

作成者 金 炳坤